

2024年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 心理学 コース

一般入試、外国人留学生入試、  
学士・修士一貫教育トラック特別選抜  
専門試験（外国語を含む）

試験日： 2023年9月3日(日)

試験時間： 9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 問題1と問題2には、それぞれ別の答案用紙を用いること。
3. 答案用紙の左上の問題番号欄に問題番号を明記すること。  
例：問題1
4. 問題1、問題2にはそれぞれ複数の問が含まれる。解答する問の順序は任意だが、問の番号・記号を明記してから解答を記載すること。例：(1)(b)
5. 答案用紙の表面に書き切れない場合、裏面も解答欄として用いてよい。

問題 1

(1) 次の英文を読み、下線部(a)(b)を日本語に訳しなさい。なお、記号、略語は原文のまま記載して構いません。(50点)

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

(出典：McGuckian, T. B., et al. (2023). Development of complex executive function over childhood: Longitudinal growth curve modeling of performance on the Groton Maze Learning Task. *Child Development*, 94, 648-658. より一部改変)

(2) 次の英文の全文を、日本語に訳しなさい。なお、人名、数値、記号、略語は原文のまま記載して構いません。(50点)

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

(出典：Navarro, E. (2022). What is theory of mind? A psychometric study of theory of mind and intelligence. *Cognitive Psychology*, 136:101495. より一部改変)

## 問題2

以下の(1)～(5)の文章はそれぞれ、研究法や統計分析に関する専門用語とその説明です。(1)と(2)については全文を、(3)～(5)については下線部分を日本語に翻訳してください。解答にあたっては、一問ずつ、(1)～(5)の問題番号と、当該の専門用語の和訳を書いたうえで、説明の翻訳文を記述してください。

なお、本文中のアスタリスク「\*」が付されている単語には、注がありますので、ご注意ください。また、略語は原文のまま記載して構いません。

### (1) Analysis of Covariance (ANCOVA)

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

### (2) Demand Characteristics

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

### (3) Floor Effect

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

#### (4) Replication

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

#### (5) Level of Measurement

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

注： constructionist（法律などの）解釈者

（出典：Vogt, W. P. (1993). *Dictionary of statistics and methodology: A nontechnical guide for the social science*. Sage. より一部改変）

2024 年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学専攻・応用社会学コース

（一般および外国人留学生入試）

専門試験（外国語を含む）

試験日：2023年9月3日（日）

試験時間：9:30～12:00

**【注意事項】**

解答は、問1, 問2, 問3それぞれ別々の答案用紙に記入すること。

2024 年度 大学院 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) 人間発達科学専攻  
応用社会学コース 9 月入試 専門試験(外国語を含む) 一般および外国人留学生入試

問1. 次の英文を読んで, (1)~(3)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

注)

stigmatisation: ステイグマ付与  
amplify: 増幅させる 増強する  
cross-disciplinary: 学際的な  
pivotal: 軸となる 中枢の  
slight: 軽蔑 侮蔑  
enmeshed: 網の目にとらえられた 巻き込まれた  
expropriation: 収奪 収用

\* この *Stigma* は, 出典元の書籍タイトルを指している。

(出典: Tyler, I., 2020, *Stigma: The Machinery of Inequality*, Zed Books, pp. 16-17 より一部改変)

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 著者は, stigmatisation をどのような概念として用いているか。本文中の記述に即して説明しなさい。
- (3) 著者の用いる stigmatisation の考え方にふれながら, 現代世界の社会問題を社会学的に論じなさい。

問2. 次の A, B の 2 問のうち, いずれか 1 問を選択して解答しなさい。(最初に A, B のいずれを選択したかを明記しなさい。)

- A. 人工知能(AI)が人間の職業や労働に対して与えると考えられる影響について, 社会学的な観点から論じなさい。
- B. 個人の趣味や嗜好の選択の背景にあるものは何か。社会学的な観点から論じなさい。

問3. 次の①～⑥の概念のうち 4 つを選んで, それぞれ項目の番号を明記してから 3 行以上で説明しなさい。

- ① 無回答バイアス (nonresponse bias)
- ② RDD (Random Digit Dialing)
- ③ G. H. ミード (G. H. Mead)
- ④ 医療化 (medicalization)
- ⑤ 社会学的想像力 (sociological imagination)
- ⑥ ヤングケアラー (young carer)



2024年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

（一般・社会人特別・推薦・外国人留学生 入試）  
（ 専 門 試 験 ）

試 験 日 : 2023 年 9 月 3 日（日）

試 験 時 間 : 9 時 30 分 ～ 12 時 00 分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 問題ごとに答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること。  
ただし、問題内に別途指示がある場合は、それに従うこと。

問題1 下の英文を和訳しなさい。ただし丸カッコ内は訳さなくてよい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

\*indictment 非難、 entrench 定着させる、 mooring 係留、 permeate 浸透する

出典

Pajares, F. (2007) Culturalizing Educational Psychology. In Salili, F. & Hoosain, R. (Ed.) *Culture, Motivation, and Learning: A Multicultural Perspective*, pp. 19-42. Information Age Publishing, USA: Charlotte.

問題2 以下の3点の表は、『令和3年度 文部科学白書』からの引用資料である。以下3点の表から明らかになることと明らかにならないことに留意して、いじめと不登校の現状と課題について論じなさい(800字程度)。

表1、いじめの認知件数の推移

<p>この部分に記載されている文章については、 著作権法上の問題から掲載することが できませんので、ご了承願います。</p>
--

表2、いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数の推移

<p>この部分に記載されている文章については、 著作権法上の問題から掲載することが できませんので、ご了承願います。</p>
--

表3、不登校児童生徒数の推移

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

出典

文部科学省『令和3年度 文部科学白書』（2023年6月1日取得、  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpab202001/1420041\\_00010.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab202001/1420041_00010.htm)）

問題3 次の問いに答えなさい。

次のページ以降の資料は、筆者がドナルド・ショーンの『リフレクティブ・プラクティシヨナー』\*による「リフレクション」論概説を行ったものである。これを読んで、以下の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1)「リフレクション・イン・アクション」の概念に対し、筆者が述べる我々が陥りやすい誤解を2つ挙げて述べなさい。(各100字程度 あくまでも目安なので文字数の制限はありません。)

① 誤解1

② 誤解2

(2)上記(1)の陥りやすい①誤解1、②誤解2それぞれに対して、筆者はショーンのいう「リフレクション・イン・アクション」とはどのようなことなのだと述べているのか答えなさい。(各200字程度 あくまでも目安なので文字数の制限はありません。)

① 誤解1に対する筆者が述べるショーンの考え

② 誤解2に対する筆者が述べるショーンの考え

\*Schön, D. A. (1983) *The Reflective Practitioner: How Professionals Think in Action*. Basic Books.

\*資料の文章中のRP本とは、上記の本の題名“*The Reflective Practitioner*”を略したものである。

出典

佐伯胖 (2018). リフレクション(実践の振り返り)を考える:ショーンの「リフレクション」論を手がかりに. 佐伯胖・刑部育子・苅宿俊文 (編), 『ビデオによるリフレクション入門: 実践の多義創発性を拓く』 (pp. 1-37). 東京: 東京大学出版会. (一部改変)

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

### 問題 3 資料 3 枚目

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。